

多摩大版 不満買取センターの設立は可能なのか？

バートルゼミ 大野翔平 田中爽貴 久家拓也 小池優紀 張鵬哲 菊池竜

I. 目的

本研究は、株式会社不満買取センター（マーケティングに関するデータベースの構築・分析・販売を手がける企業）のビジネスモデルを参考とし、多摩大版買取センターの設立可能性について考察するものである。

具体的には、多摩大生がキャンパスライフを送っている中で、大学に対し感じている不満を調査、分析し、かつその過程で得られる知見を踏まえて不満買取センターのようなシステムを多摩大において導入することは可能かについて検証するものである。

II. 概要

一般的に不満というものは把握しにくく、改善に活かしにくいものだが、それを調査することにより何が足りないのか、必要なものは何か、見えてくるのではないかと考えられる。今の多摩大に学生から見て何が必要なのか、具体的な声を聴き、それを分析する。そして多摩大に不満買取センターのようなものを創るにはどのようなルール、システムになるのか考察する。

学生目線の不満を集め、「多摩グローバル人材の育成」を標榜する多摩大学をより良い大学にするために、学生からの意見をどう活かせれば良いのか、考えてみたい。

III. 調査方法

多摩大生の不満を調べるためにアンケート調査を実施。それをグラフ化し、どのような声が多いのか分析し、学生目線での提案を行う。

IV. 参考資料

株式会社不満買取センターウェブサイト <http://corp.fumankaitori.com/service/>